

お茶飲みすねが？



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://niji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日) 《11月の休館日》5日(木)、12日(木)、19日(木)、26日(木)

2026・第60回
10月27日(火)～11月9日(月)

読書週間

大石田町内小学校・町立図書館共催

図書・雑誌リサイクル市

会場 大石田町立図書館
令和9年度に統合が予定されている町内小学校の
リサイクル本と町立図書館の蔵書本をお譲りします

11/30
月 まで

～としよかんからの挑戦状！～

としよかんクイズ

図書館や本にまつわるクイズを解いて、
ざっしのふろくをゲットしよう！

＜参加方法＞
① 図書館カウンターで
クイズカードをもらいます。
② クイズに答えて
全問正解すると、
好きな雑誌の
付録を1つ選べます。

11/30
月 まで

クイズカードは3種類！
期間中何回でも参加可(1日3回まで)

今月は、どの本を読む？

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します！



『米粉はミライ！ 日本の食と農を拓く挑戦物語』

(石井 里津子 // 著 旬報社)

米粉はニッポン農業の希望！かつてブームとなるも、食味や調理のしにくさで下火となった米粉。その復活劇が大阪の下町から始まった。製粉業者や農業技術者など「日本の農業を復活させたい」という想いでつながる人々を描く。



『『おくのほそ道』新考 自筆本からわかる芭蕉の真意』

(魚住 孝至 // 著 筑摩書房)

1996年に発見された芭蕉自筆の「おくのほそ道」。草稿ではなく、芭蕉自身が上質紙に丁寧に清書した自筆本から、作品に籠めた芭蕉の真意、そして「軽み」の展開を解明する。日本思想研究者による芭蕉研究の集大成。

『かわいいピンクをさがしに』

(なかむら るみ // 文・絵 福音館書店)

ピンクは「かわいい色」？建築、植物染色、口承文芸、化学、服飾、美術、写真、色彩論など、様々な分野の専門家に「ピンク」の話を聞いてみたら、ピンクの本当の姿が見えてきて…。



『ジャックとハロウィンかぼちゃ』

(寺島 ゆか // 作・絵 教育画劇)

悪魔が、いじわるで唾つきなジャックを、地獄に連れて行こうとします。でも、その悪魔までだましてしまったジャックは…。ハロウィンかぼちゃの由来がわかる、子どもたちが大好きな行事をおもしろくわ～いお話しした紙芝居。



※紹介文は「TRC MARC」より引用。すべて町立図書館蔵書。

町小中学校長会 養護教諭部会 から

町小中学校メディアコントロールデー

11月16日(月)・17日(火)・18日(水)



子どもたちの望ましい生活習慣をつくるために、今年度も11月16日～18日に町内の小中学校で一斉にメディアコントロールの取り組みを行います。

『メディアコントロール』とは、メディア機器に触れる時間や約束事を決め、それらを自分で守ることです。

目的：ご家庭でのメディアの利用による生活リズムの乱れや脳への害を改善するとともに、メディアの利用を減らし、家族との触れ合いや読書の時間を持つこと。
※ここでのメディアとは、パソコン・タブレット・スマートフォン・携帯ゲーム・テレビゲーム・DVDなどのデジタルメディア機器のことです。

小中学校の子どもたちにとって、今は、脳をはじめとする体の各器官が成長する大切な時期です。自分の持っている力を十分に発揮するためには、基本的な生活習慣の確立が不可欠です。中でも、近年は「メディアコントロール力」が基本的な生活習慣をつくる大事な要素となります。

この機会に、家族みんなでメディアコントロールにチャレンジしましょう！ぜひ、お子さんやお孫さんへの励ましや温かい声かけ、見守り等をよろしくをお願いします。



ご協力よろしくお願いいたします！！



小学校の統合に向けて



9月10日(木)に「サンサンスタディ」の教科版として、大石田小学校を会場に町内3校の全校児童(208名)が集まり、3校合同授業を行いました。

はじめに、体育館で全校集会を行いました。みんなで歌った校歌は、いつもと違う大きな響きが体育館中に広がり、とても迫力があり、圧巻でした。

その後、学年ごとに分かれ、教科授業を行いました。最初はちょっと緊張した様子でしたが、すぐに友達と関わりながら、楽しそうに、そして一生懸命に学習する姿が見られました。

交流学习も残りわずかになりましたが、来年4月からは一緒に学校の仲間として、充実した学校生活を送っていけるように、引き続き、教育委員会も支援してまいります。

■教育文化課 学校教育グループ
35-2111(内線252)

